

6 勝浦町

水呑大師の水は四国霊場 20 番札所鶴林寺への遍路道にあり、 Na-HCO_3 型の水質を示し季節により変化が見られた。

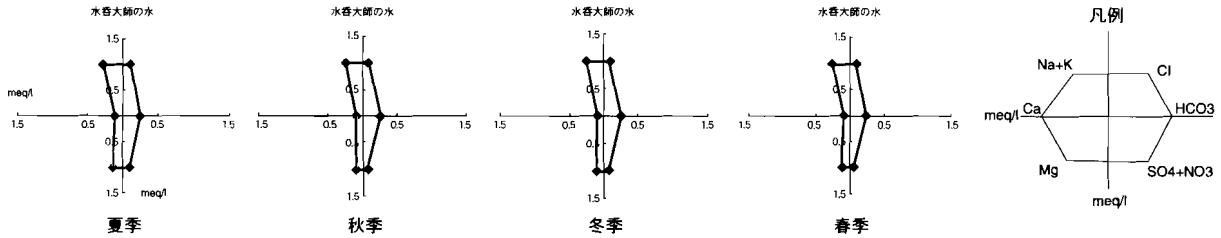


図-15 ヘキサダイアグラム（水呑大師の水）

7 鴨島町

江川湧水、龍王水ともに Ca-HCO_3 型の水質を示した。

江川湧水は夏冷たく 10 度前後、冬は温かく 20 度以上という異常な水温で、県の天然記念物である。今回の調査では夏の水位は高く冬は水位低下のためか異常水温は観測できなかった。

龍王水は森藤ふれあいランド内にあり、水質は季節の変動は少なくカルシウムと重碳酸イオン (HCO_3^-) の多い水質であり、眉山湧水群などと同程度の硬度があった。

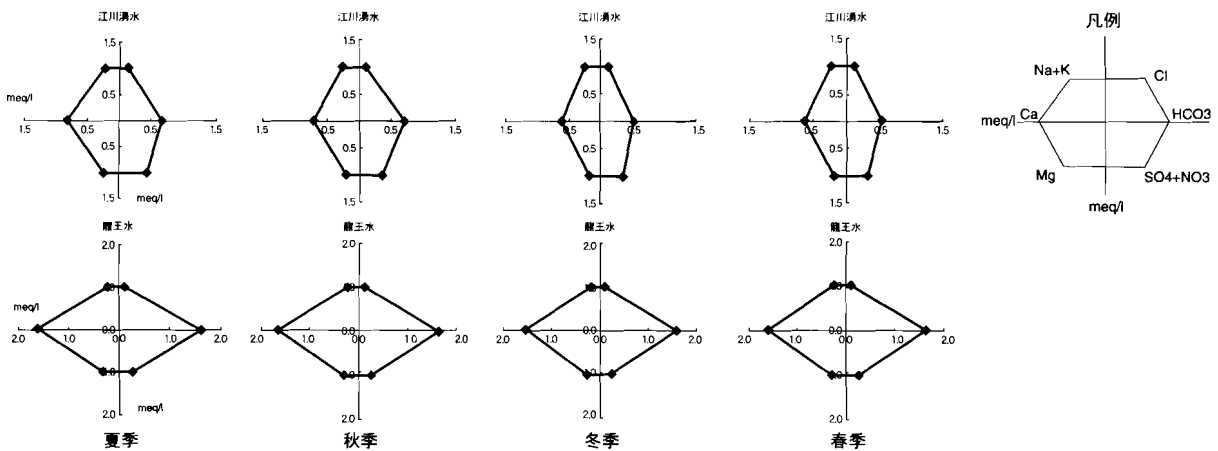


図-16 ヘキサダイアグラム（江川湧水、龍王水）

8 神山町

柳の水、大泉・小泉、悲願寺の名水の 3 地点とも Ca-HCO_3 型の水質であった。

柳の水は 11 番札所と 12 番札所間の柳水庵にあり、遍路が乾きをいやすためにも使われている。

大泉・小泉は集落の中にある共同井戸の形態を残しており、柳の水とよく似た水質であった。

悲願寺の名水は悲願寺の境内に湧く水で溶存物質も比較的少なかった。

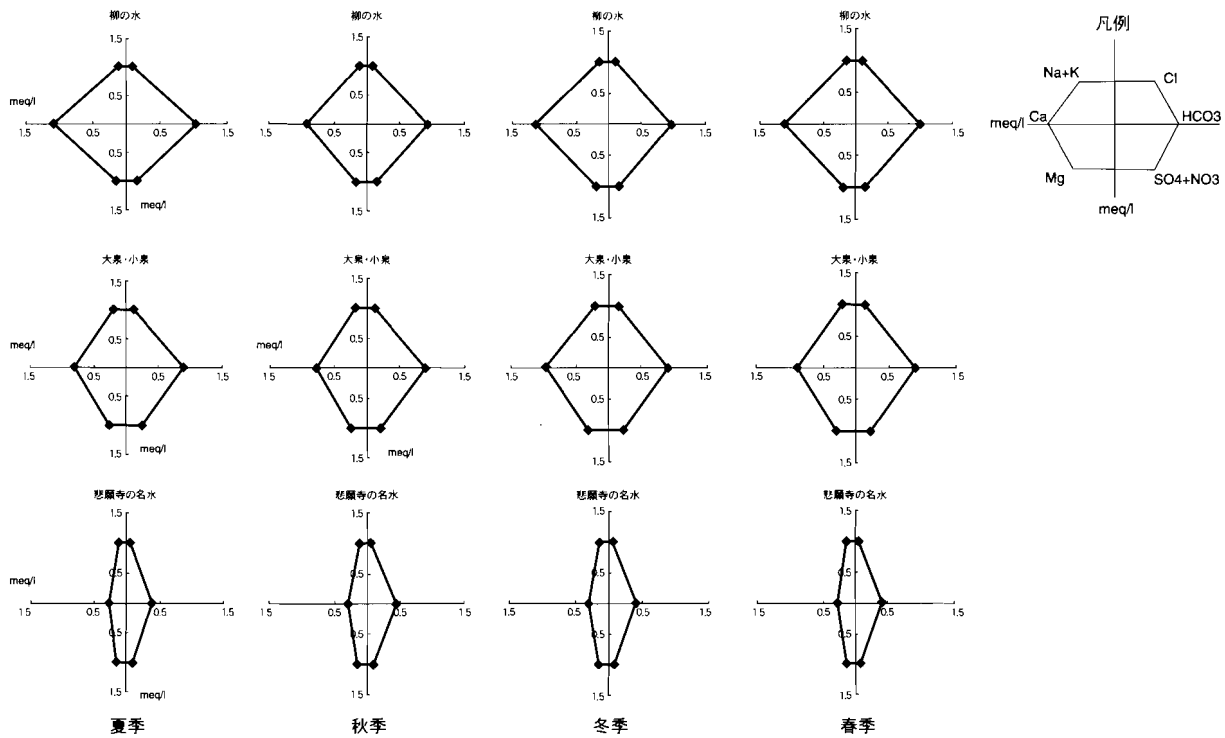


図-17 ヘキサダイアグラム (柳の水, 大泉・小泉, 悲願寺の名水)

9 木頭村

長命水は旧四季美谷温泉の前に湧出しており、水量は少ないが溶存物質の比較的多い水質で Ca-HCO₃型の水質を示した。

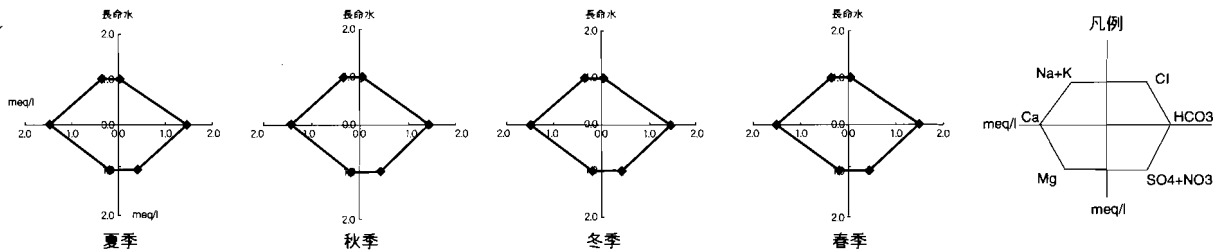


図-18 ヘキサダイアグラム (長命水)

10 三野町

大平の湧水は県道琴南三野線にあり、Na-HCO₃型の水質を示し、季節により変化が見られた。カルシウムイオンと硫酸イオン量が春、夏に比べ秋、冬が多くなる傾向が見られた。またケイ酸も分析地点の中で2番目に高い値を示した。

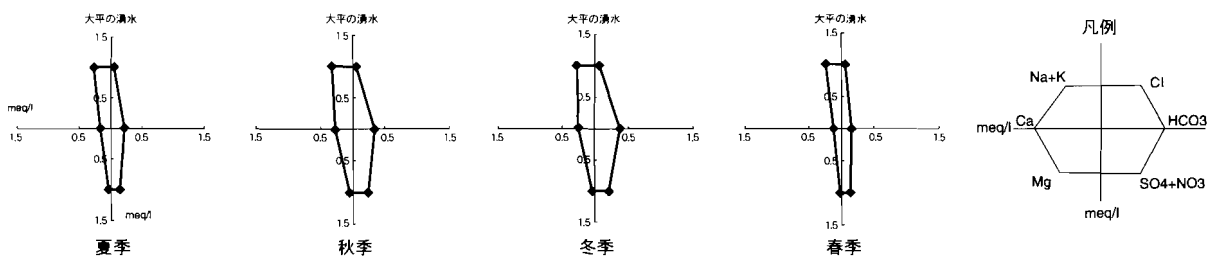


図-19 ヘキサダイアグラム (大平の湧水)

11 東祖谷山村（剣山周辺）

剣山御神水、次郎笈の水は冬季積雪のため調査ができなかったが、2地点とも Ca-HCO₃型の水質を示した。剣山御神水は季節により若干の水質の違いが見られ、夏期に溶存物質が少なくなるのは湧出量が少ないため、雨水が短時間で湧出した水ではないかと推測される。次郎笈の水は溶存物質が少なく剣山御神水と同様に夏期に溶存物質が少なくなる傾向が見られた。

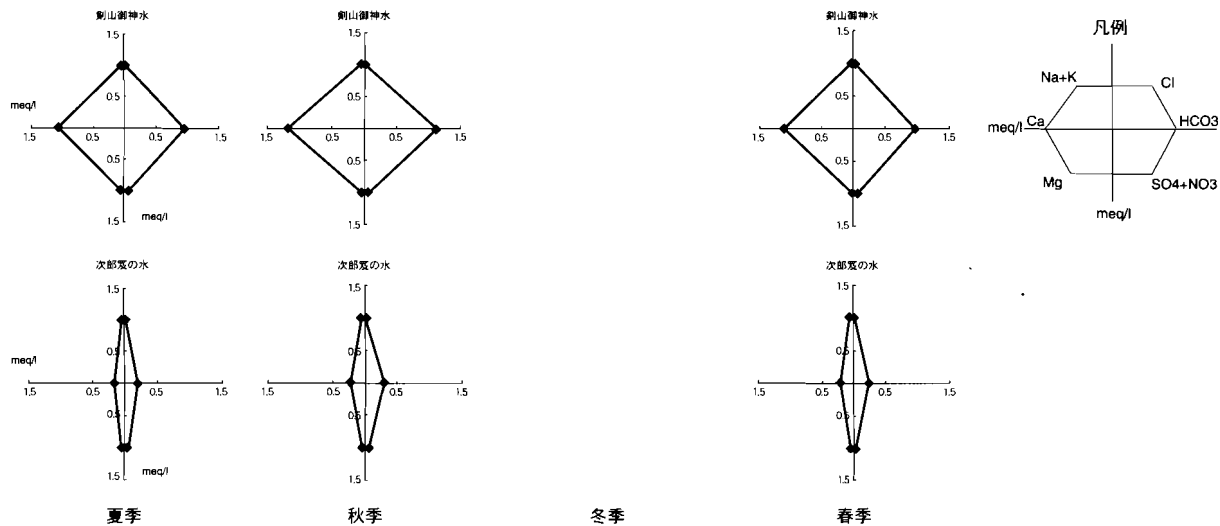


図-20 ヘキサダイアグラム（剣山御神水、次郎笈の水）

12 木沢村

歩危峡の湧水は国道沿いに流れ出ており、ドライバーの休息場所になっている。カルシウムと重炭酸イオン（HCO₃⁻）を多く含む Ca-HCO₃型の水質を示した。

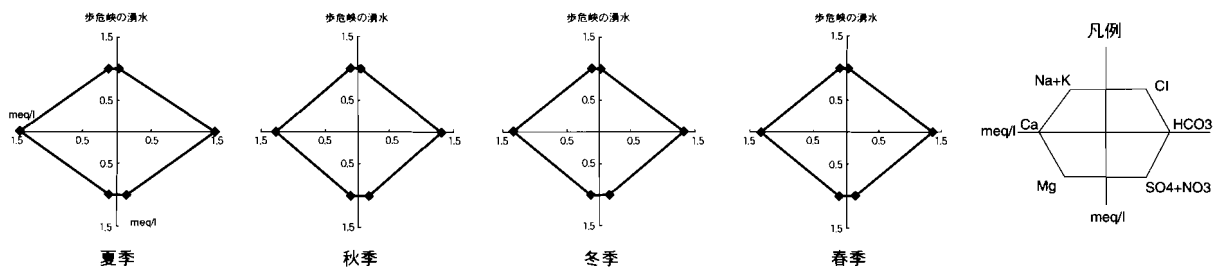


図-21 ヘキサダイアグラム（歩危峡の湧水）

X まとめ

県内の比較的有名な名水 26 地点について季節毎に調査を実施し以下の結果が見られた。

また、徳島市内の名水について Sr,V について調査を行った。

- 1 26 地点中 22 地点が Ca-HCO₃ 型で 2 地点が Na-HCO₃ 型、1 地点が Ca-HCO₃ 型と Na-HCO₃ 型の間で 1 地点が Na-Cl 型を示した。
- 2 標高の高い地点と江川湧水については水質の変化が見られたが他の地点は季節的な変化は少なかった。
- 3 近年硝酸イオンの汚染が話題になっているが 10ppm を超えるところはなかった。高い値が見られたのは桐の水、井戸寺のお加持水の 2 地点が 8～9 ppm であり、この地点を含め全体的に夏期に高い傾向が見られた。
- 4 ヘキサダイアグラム及び Sr 濃度で蔵清水と井戸寺のお加持水は水質が類似しているが眉山湧水群と異なっている。蔵清水と井戸寺のお加持水は鮎喰川の伏流水であると推測

される。

- 5 剣山を除く標高の高い名水は溶存物質が少なく四季による変化がみられるため雨水が短時間で湧出した水であると推測される。

文 献

- 1) 日本地下水学会編：名水を科学する，299pp，技報堂出版，(1994)
- 2) 伊澤茂樹他：徳島県保健環境センター年報，14，27－31，(1996)
- 3) 伊澤茂樹他：徳島県保健環境センター年報，15，21－27，(1997)
- 4) 日本地下水学会編：続名水を科学する，246pp，技報堂出版，(1999)
- 5) 日本地下水学会編：地下水水質の基礎－名水から地下水汚染まで，189pp，(2000)